

笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第151号



題字は岸 信介先生書

2021年(令和3年)10月22日



秋祭り 伝統の舞

10月3日、東田布施地区の秋祭りで、山口県指定無形文化財の「大波野神舞」が舞われました。地区の小学生・中学生も参加し、伝承に励んでいます。

9月定例会・7月臨時会	2P
委員会レポート(決算審査特別委員会)	4P
保健センター整備(案)	6P
10人の議員が町政を問う	7P
研修報告	18P
議会だより150号を読んでの感想	19P



▲携帯で簡単に議会のホームページにアクセスできます

ホームページの「議会だより」は、表紙がカラーとなります。

2年度決算認定・3年度補正予算承認

9月定例会

～主な補正予算～

財政基金積立金

1億1,600万円(一般会計)

国民健康保険基金積立金

5,000万円(国民健康保険会計)



本会議 (9月7日)

令和2年度町諸会計決算の概要

■歳入歳出の状況

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	83億4,301万円	80億9,319万円	2億4,982万円
特別会計	国民健康保険	18億7,307万円	6,033万円
	下水道事業	8億4,392万円	53万円
	介護保険	17億4,027万円	7,769万円
	後期高齢者医療	3億 29万円	2万円
合計	131億6,089万円	127億7,250万円	3億8,839万円

令和3年9月定例会は9月7日から11日間の日程で開かれました。本定例会では、町長報告3件のほか、決算1件、補正予算4件、条例5件、その他1件、人事3件の町長提出議案、陳情1件、議員提出議案2件を審議しました。なお、初日の本会議では、10人の議員が一般質問に登壇しました。

町長報告

- 令和2年度基金運用状況
- 令和2年度決算に係る健全化判断比率
- 令和2年度決算に係る公営企業の資金不足比率

町長提出議案

令和2年度決算

●一般会計

歳入総額は83億4301万円、歳出総額80億9319万円で、差引額(形式収支)は2億4982万円の黒字になりました。

●特別会計

4会計の歳入合計額は48億1788万円、歳出合計は46億7931万円で、差引額(形式収支)は1億3857万円の黒字になりました。

【全員賛成】

補正予算

令和3年度補正予算

●一般会計

歳入歳出それぞれ2億8052万円増額し、予算総額67億2198万円とするものです。

《主な歳入補正》

地方交付税

1億1187万円増

国庫支出金

1995万円増

県支出金

1860万円増

繰越金

1億4631万円増

《主な歳出補正》

総務費

2億226万円増

民生費

1378万円増

災害復旧費

2971万円増

●特別会計

○国民健康保険

歳入歳出それぞれ6267万円増額し、予算総額19億2640万円とするものです。

【全員賛成】

下水道事業

○歳入歳出それぞれ15万円減額し、予算総額8億8548万円とするものです。

【全員賛成】

介護保険

○歳入歳出それぞれ82222万円増額し、予算総額16億6542万円とするものです。

【全員賛成】

条 例

○田布施町防災会議条例の一部改正について

光地区消防組合の組織改正及び所掌事務の追加に伴うものです。

【全員賛成】

○長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部改正について

ソフトウェアの使用許諾契約及び事務用機器の保守業務契約を追加するため議会の議決を求めるものです。

【全員賛成】

○田布施町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

家庭保育事業等の設備及

び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴うものです。

【全員賛成】

○田布施町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部が改正されたことに伴うものです。

【全員賛成】

○田布施町国民健康保険条例の一部改正について

産科医療補償制度の見直しに伴い、出産育児一時金の支給額を改定するため議会の議決を求めるものです。

【全員賛成】

その他

○字の区域の変更について
〔国営南周防土地改良事業〕中西換地区〕

国営南周防土地改良事業「中西地区」の換地処分にあたり、字の区域の変更を要するため、議会の議決を経るものとす。

【全員賛成】

人 事

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

加藤一生氏の任期満了（令和3年9月30日）に伴い、引き続き同氏を任命することに同意するものです。（任期は令和3年10月1日から3年間）

【賛成多数】

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

岩本宏司氏の任期満了（令和3年12月31日）に伴い、引き続き同氏を任命することに同意するものです。（任期は令和4年1月1日から3年間）

【賛成多数】

○教育委員会委員の任命について

櫻井濟美氏の任期満了（令和3年10月19日）に伴い、新たに尾崎雅一氏を選任することに同意するものです。（任期は10月20日から4年間）

【賛成多数】



尾崎 雅一氏

陳 情

○コロナ禍による厳しい地方財政に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

【採択】

議員提出議案

条 例

○田布施町議会委員会条例の一部改正について

常任委員会の所管の変更、委員の選任等の見直しを行うものです。

【全員賛成】

規 則

○田布施町議会委員会条例の一部改正について

本会議における公聴会の開催及び参考人の招致に関する規定を追加するとともに、本会議への欠席事由の明文化、請願に係る署名押印の見直し等を行うものです。

【全員賛成】

7月臨時会

令和3年7月臨時会が7月27日に開かれ、町長提出議案1件を審議しました。

町長提出議案

令和3年度補正予算

●一般会計

歳入歳出それぞれ5623万円増額し、予算総額64億4146万円とするものです。

《主な歳入補正》繰越金

3000万円増

《主な歳出補正》総務費

5584万円増

【全員賛成】



決算審査特別委員会



決算審査特別委員会 (9月9日)

令和2年度決算

特別定額給付金 15億円 (1人10万円)
新型コロナ地域支援対策事業 1億8,158万円
学校ICT整備事業 (1人1台タブレット等) 1億3,353万円

「令和2年度田布施町歳入歳出決算の認定」については決算審査特別委員会を設置し、9月9日に委員会を開き、慎重に審査しました。審査の結果、全員賛成で認定されました。

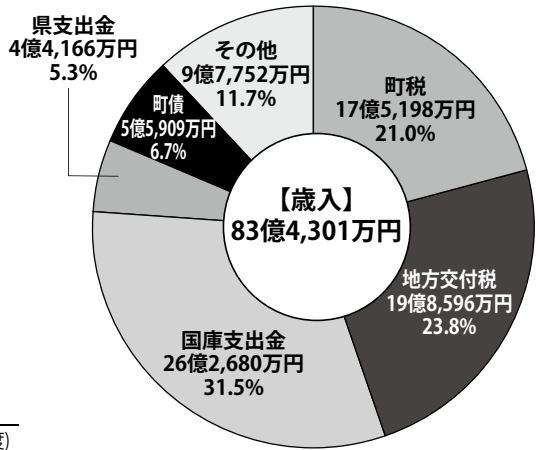
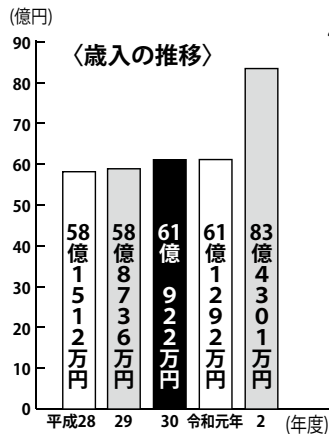
令和2年度田布施町一般会計決算の概要

歳入

町税の徴収率は96.6%で、前年度比0.1ポイント低下。不納欠損額は571万円。収入未済額は5,567万円で、前年度比で463万円増加した。

税外収入は、収入済額65億9,103万円と、前年度比22億5,028万円増加した。これは、国庫支出金が19億5,204万円増加したことが主な要因である。

(監査委員による審査意見書より)

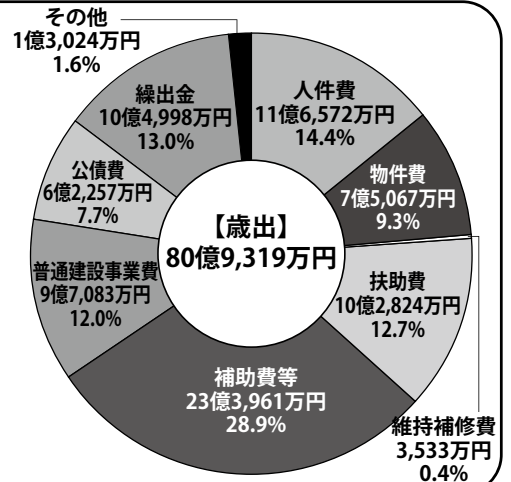
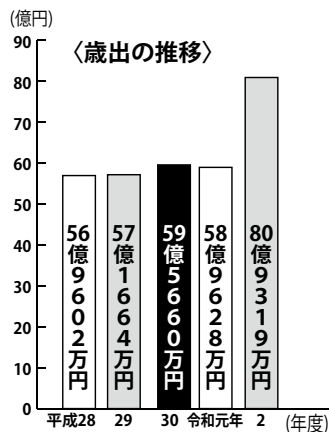


歳出

支出済額は80億9,319万円で、前年度に比べ37.3%増加している。

新型コロナウイルス感染症対策対応に伴う特別定額給付金事業等による補助費等の増額、中学校大規模改修や光ファイバー網の整備等による普通建設事業費の増額、また、7月豪雨災害に伴う災害復旧費の増額が主な理由である。

(監査委員による審査意見書より)



財政構造の弾力化

- (1) 経常収支比率 93.2% (0.2ポイント低下)
- (2) 実質公債費比率 11.1% (0.7ポイント改善)

次ページ参照

基金・地方債現在高

- (1) 基金現在高 17億8,669万円 (4,699万円増加)
- (2) 地方債現在高 102億2,888万円 (1億3,208万円減少)

おもな質疑 一般会計 Q&A

歳出

◎議会費・総務費

△総合計画策定業務委託料 715万円

△委託することなく手作りすべきと思うが。

△検討する。

△高度無線環境整備推進事業 5470万円

△光ファイバー網整備の対象地域はどこか。

△町内の情報格差をなくすため、高速・大容量の無線局を設置する事業。対象地区は小行司、大波野上・中、竹尾真殿・大国木、中西地区。
△印刷製本費 358万円

△広告掲載状況は。

△広報・HPのバナー広告掲載料は例年通り28万円。コロナでイベント等がなくなり、その分は減少。

△テレビ難視聴対策事業 実績は。

△令和2年は20万円支出。補助額は工事費の2/3。

△麻里府地区はテレビ組合に入っているが補助はないか。

△組合ではなく個人等に対して補助するもの。

◎民生費・衛生費

△水質検査(河川) 137万円

△大腸菌の数値にばらつきがあるが。

△雨後の検査と通常ではどうしてもばらつく。飲料水ではないので、特に対策は必要ない。

△がん検診・予防接種

△受診率・接種率が低いが対応は。

△今年度は総合検診を実施予定。今後も受診率向上に努める。

◎労働費・土木費・災害復旧費
△森林総合整備事業 266万円

△地域が育む豊かな森林づくり推進事業

△竹林の繁茂が目立つ。活用してもらいたい。

△県から新規事業が回ってこない。「地域が育む豊かな森林づくり推進事業」は、令和2年度から地元負担が必要になり、また、集落が基本になつており難しい。県に要望していく。

△経営自立化支援事業 137万円

△漁業研修者は何名か。事業利用者は。出身地は。

△現在漁業研修者は1名で、岩国市出身。事業利用者は1名で神奈川県出身。

△住宅使用料未済額 808万円に増加しているが、滞納者に対し対応しているか。

△3ヶ月経ったら訪問する等対応している。

△町道維持管理
△自治会に管理委託されているが、高齢化で困っている。対策を。

△切実な問題であり、対策に困惑しているのが現状。

△イチジクワイン振興事業 24万円

△売上はどうか。

△年々減少している。

◎消防費・教育費・公債費・予備費
△消防団員 24万円

△ゆうれい団員はいるか。

△出席率が悪い方は分団長と話を辞めていただく等対応している。ゆうれい団員はいない。

△学校タブレット
△田布施町が導入している授業支援ソフトはなにか。県内でソフトウェアを統一すれば、経費が削減されると思うがどうか。

△ミライシード(ベネッセ)とGoogle。ソフトウェアを統一する動きはない。

歳入

△町税調定収納
△収納率が上がった要因は。

△滞納整理事務の強化など、徴収努力の成果。

特別会計

◎下水道事業

◎国民健康保険

◎介護保険

◎後期高齢者医療

【全員賛成】

語句の説明

○「経常収支比率」とは
財政構造の弾力性を判断するための指標で、数値が高いほど、経常的に歳入される一般財源に余裕がないことを示しています。

○「実質公債費比率」とは
公債費負担が自由に使える一般財源の額等に対してどのくらいあるかを占めず指標で、数値が高いほど、財政の弾力性が低下していることを示しています。

令和2年度末基金の状況

種類	現在高
土地開発基金	2億3,843万円
財政基金	7億6,139万円
公共施設整備基金	3億2,186万円
その他	4億6,501万円
合計	17億8,669万円



がん検診車



保健センター外観

防災機能を備えた

保健センター整備(案)

9月17日(金)、本会議終了後の全員協議会で、来年度、老朽化した中央公民館解体後に整備する予定の防災機能を備えた施設について説明がありました。これまで防災センター等の名称が検討されてきましたが、通常時は保健センター機能が主体となるため、名称についても「田布施町保健センター」としたいとの意向が示されました。施設の機能等については次のとおりです。

●保健センター(下の平面図①・相談室(平面図②)保健サービスの提供、災害時は本庁の災害対策本部を補完し、また配慮が必要な方のための福祉避難所となります。

●多目的室(平面図③)・会議室(平面図④)一般貸し出しも行うほか、防災教育や保健センターの行事等に使用し、災害時は避難所、備蓄品の仕分け・配給場所

となります。多目的室にはステージや映像音響設備を備えます。

●備蓄倉庫(平面図⑤)備蓄品の保管場所となります。

●消防車庫(平面図⑥)消防団の車両や資機材の保管場所、訓練等の防災教育の場。災害時は支援部隊の集結場所となります。

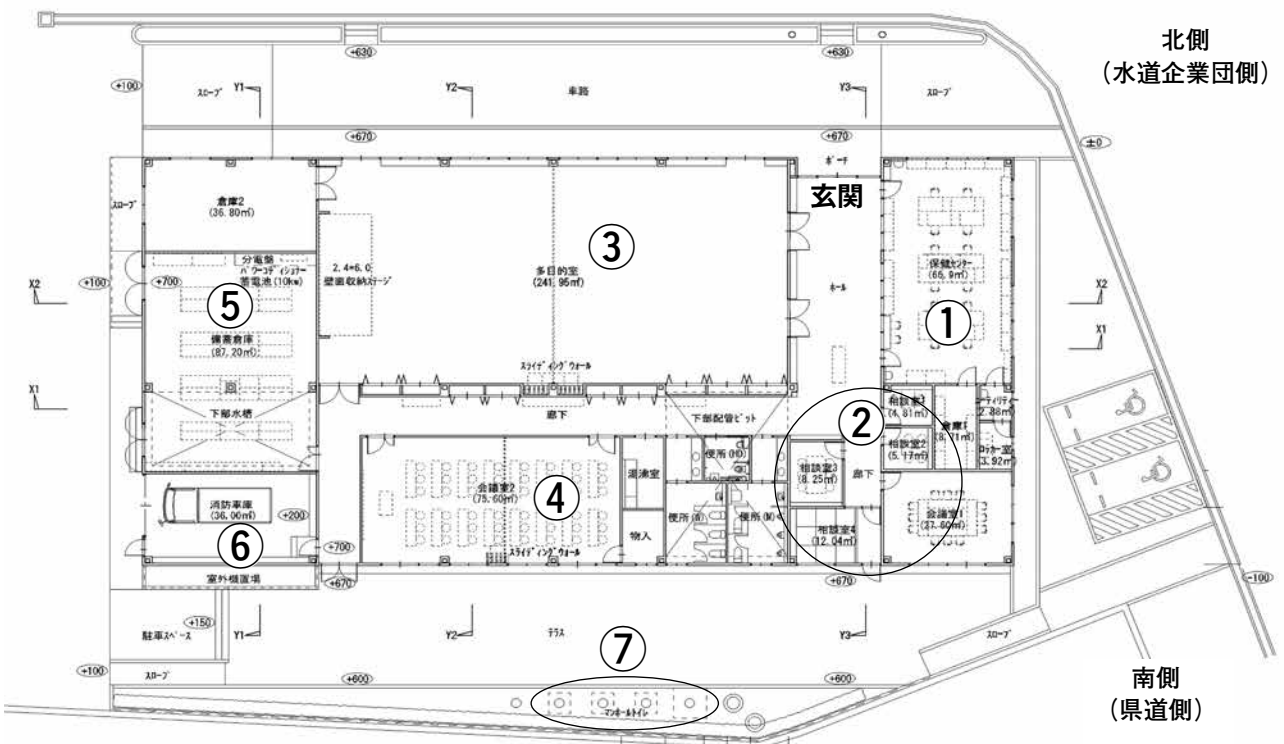
●マンホールトイレ(平面図⑦)災害時にマンホールの蓋を外して便器やテナントを構え、下水道管に直接流すものです。4基を計画しています。

●その他 太陽光発電設備、蓄電池等の整備を計画しています。

■施設の規模等 鉄骨造・平屋・延床面積800㎡(中央公民館の延床面積は約968㎡)

■建物本体工事費 2億8500万円

※国の財政措置70%の有利な財源を活用します。



保健センター平面図



9月定例会 一般質問

10人の議員が町政の課題を問う

実質公債費比率

改善しているのか 西本 篤史

将来負担比率は改善している 東 町長



西本 篤史 議員

Q 町は財政健全化に取り組み、町債残高は減少、積立基金残高は増加、実質公債費比率は改善方向で推移しているというが、県内19市町の5年間の比率を見てみると下から2、3番を推移している。行政、学校のデジタル化により委託費、維持管理費の増加もあり、財源不足が増えるのでは。

A 実質公債費比率は年々改善している。庁舎の建替ではなく、耐震改修とするなど建設事業費の抑制を図った。将来負担比率は、令和元年度決算では比率の高い方から数えて県内市町では下から7番目で、順位を改善した。デジタル化に伴う経費については、財源不足が生じないよう適切に対処する。

「将来負担比率」とは

債務残高が自由に使える一般財源の額等に対してどのくらいあるかを占めず指標で、数値が高いほど、将来の財政負担が大きいことを示しています。

実質公債費比率(3ヶ月平均) 過去5年の推移

年度	指数	対前年度増減(△)
平成28年度	13.1	△0.5
平成29年度	12.7	△0.4
平成30年度	12.3	△0.4
令和元年度	11.8	△0.5
令和2年度	11.1	△0.7

コミュニティ・スクール

連携カリキュラムとは

西本

地域ぐるみで実現する
教育計画 鳥枝教育長

Q 田布施町は教育の町として名高い。先日、「コミュニティ・スクールの合同研修会が行われた。趣旨は、地域ぐるみで目標を共有し、連携・協働して、効果的に教育活動を推進するための組織づくりと、今後9年間の「学校・地域連携カリキュラム」を行うが具体的に何をするのか。

A 「学校・地域連携カリキュラム」は、各小中学校で、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、育てたい子どもの姿の実現や学校・地域の課題の解明に資するため、地域の人の物等の支援や資源を活用しながら、地域ぐるみで実現しようとする活動や内容を系統的に示した教育計画である。



総合学習授業(6月30日 麻里府漁港)

「田布施町の子どもたちに求める未来の姿」 について回答数の多かった項目

- ・「主体性や行動力を発揮できる人」
- ・「優しさと思いやりのある人」
- ・「地域の発展に尽くす人」
- ・「地域とのつながりを大切に人」

田布施CS、地域協育ネット合同委員会
アンケート結果より(令和3年7月実施)

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いただすものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

甚大、頻発化する自然災害への対応

避難体制、被災時対応は万全か

神田 栄治

更なる充実を図る

東 町長



神田 栄治 議員

Q ①避難訓練の実施状況は。
 ②7つの避難所の最大収容人数は。必要な仮設トイレ数は。
 ③終末処理場が被災し、公共下水道が使用不能時の対応は。施設復旧のため設備業者との修理優先協定の締結は。
 ④災害発生時の職員行動マニュアル作成の有無
 ⑤過去の土砂災害発生個所の把握は。

A ①町内5地域に、4つの自主防災組織あり。それぞれで避難訓練等実施。②2か所の二次避難所500人を合わせ、合計780人。仮設トイレは、通常では不必要。大規模災害用で、インスタントトイレ5個等備蓄。③県の施設。早期復旧に務める計画有。協定は未締結。④有。⑤無。



避難訓練 (令和2年11月9日 西田布施公民館)

農業振興 (農業法人育成)

農業機械導入助成等について

神 田

今後検討していく

町 長



スマート農業機械 (自動走行トラクター)

Q 担い手不足が深刻な日本の農業において、地域農業の核となる農業法人が、農作業の省力化を図れるスマート農業の導入にあたり、県補助に町の補助を上乗せできないか。農業法人等は、町全体の何割を耕作しているか。耕作放棄地面積は。担い手対象の講演会開催の意向はあるか。

A 食料自給率が4割を切る中、労働力不足解消のため、国は、スマート農業を推奨している。農機導入時、県が1/3補助で、町の義務負担はない。普及状況や要望も踏まえ、上乗せについて今後検討したい。担い手へは、約29%集積。耕作放棄地は約100ha。講演会は、関係機関で開催。

たぶちゃん

今後どう運用されるのか

河内 賀寿

末長く愛してもらいたい 東 町長



河内 賀寿 議員



たぶちゃんのお披露目 (城南保育園)

Q10年以上前「田布施のPRキャラクターを作ってはどうか」という一般質問をした。最近「たぶちゃん」という着ぐるみに予算が付き活動を始めた。住民の方からは、数年で倉庫に置かれっぱなしになるのではとの声もある。そのようなことがないよう、今後どう運用されるのか問う。

A「たぶちゃん」着ぐるみの貸出要領を策定し、チラシやポスターなどキャラクター周知に取り組み中。テレビや観光協会主催の動画配信にも出演予定。パークラフトを小学生約700人に配布するなど、町への愛着や親しみを高め、末長く愛してもらえればと考える。

終戦の日にサイレン

鳴らせないか

河内

考えていない

町長

Q今年も8月15日の正午、我家から別の行政のサイレンが聞こえた。本町は田布施町歌のメロディのままです。

300万人以上の方が亡くなられた先の大戦である。終戦記念日の正午、サイレンを鳴らしてはどうか。近隣市町も光空襲や原爆の日など、鳴らしている地域も多い。

A8月15日は本庁や出先機関で半旗掲揚と、町民の皆さんには正午の黙とうをお願いしている。サイレン吹鳴は行っていない。放送が聞こえない場合、サイレンだけを聞かれた方が、火災や災害と間違えられたりもするので、慎重に検討せねばならない。現在、吹鳴は考えていない。



庁舎屋上のスピーカー

人事評価制度

適正な人事評価を

國本 悦郎

見直し作業に着手

東 町長



國本 悦郎 議員

Q 人事評価について、現在の2区分以外に議会や選挙管理委員会等独立した機関があるが、現状は任命権者が評価にタッチしていない。兼務する職員の評価者の区分や評価者、確認者は今後どうするか。面談や研修の実施状況はどうか。また、人事評価システムの導入はいかがなものか。

A 各部署、機関における評価者等の区分について、現時点で素案はあり、2区分の確認者は町長にしている。他の独立した機関については評価者、確認者は今後、委託業者と協議するようにしている。期首面談は済ませ、評価者研修をする予定。人事評価システムは検討課題としたい。

給食

より安全で安心な給食を

國本

食育に力を入れている 町長 鳥枝教育長

Q 9月から一部、民間に業務委託した給食が始まった。より安全で安心な給食をという観点から、配膳活動や食育、食材の地産地消、生ごみの処理、食物アレルギー対策等、現状はどうなっているか。エレベーターやランチルームの学校施設の目的外使用は可能か。

A 運搬、配膳時には状況に応じてサポートしている。地産地消率は高く、残菜は少ない。生ごみは農工で活用してもらっている。食物アレルギーは、除去食で対応している。保育園では食育や食物アレルギー対策に力を入れている。施設の目的外使用は現状では困難である。



田布施町給食センター

バリアフリー

バリアフリー化の推進を

國本

バリアフリー化を盛り込んだ計画策定 町長

A 駅前の点字ブロックの破損している箇所が多いので、JR西日本と協議しながらその補修と、併せて段差解消、エレベーターの設置の依頼をしたい。田布施町地域公共交通会議(仮称)を立ち上げ、バリアフリー化などを盛り込んだ計画策定を実施していきたい。

Q 駅前の点字ブロックの劣化により、黄色い欠片が散乱して点字ブロックとしての用をなさなくなっている。田布施町では、「共に支え合うまちづくりの推進」を施策として挙げているので、駅前の点字ブロックの補修と、更に多機能トイレの設置をJRに要望できないか。

町が引続き行う業務	給食提供までの流れ	委託する業務
●	① 献立の作成	
●	② 食材の発注	
●	③ 食材の検収	
●	④ 調理	●
●	⑤ 検食	●
	⑥ 学校ごとに配缶	●
	⑦ 配送・回収	●
	⑧ 洗浄、消毒	●
●	⑨ 食に関する指導	

業務分担表



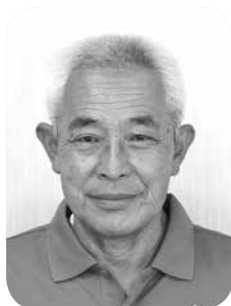
劣化した点字ブロック

旧麻里府小学校の早期解体を

跡地の有効活用

伊村 渉

協議会の中で検討する 東 町長



伊村 渉 議員

Q 耐震化不適合で他に利用出来ない老朽化した危険な校舎を早く解体し、跡地に「遊歩道型運動公園」の設置をお願いしたい。住民のアイデアで運動機能を含んだ遊歩道を個々の能力に応じて活用し、地域のみなさんが健康な体を維持するとともに、地域の「こいの広場」にしたい。

A 耐震化不適合で貸館していないが、文化財調査や郷土資料の関係物品や書類を置いていく。当面は維持管理をしていく。「遊歩道型運動公園」の要望は理解できるが、麻里府地区は公民館移転を最優先に考えている。今後、地域の活性化について協議会を設けてその中で検討していく。



老朽化した旧麻里府小学校

「見えない価値」の評価

義務と権利の両立

伊村

健全に成長して行く 町長

Q 企業が財務諸表に表れにくい「見えない価値」を語り始めた。人や自然環境の変化に合わせ、存在意義を問い直す動きがある。行政も町民の要望や課の計画の進行状況を各課で共有したらどうか。男性職員の育児休業取得率は何%か。取得率の向上に向けた良い環境作りをお願いする。

A 財務諸表は決算実績数値で、今後どうなっていくかと言う事を含め、企業も非財務情報についても重視する動きがある。本町も健全に成長して行く為に取り組みを参考に。町男性職員の育児休業取得率は、前年度50%で期間は2週間〜3週間である。今後も改善に取り組んで行く。

若者の地域参画

町の取り組みは

高月 義夫

更なる方法検討する

東 町長



高月 義夫 議員

若者の定義

厚生労働省が所管する地域若者サポートステーションでは、働くことに悩みを抱えている15歳から39歳までの年齢を対象とするとあるので、便宜上39歳以下を若者としている。

Q 田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、施策や事業の効果を検証、検討を行い、幅広く多くの人の意見を反映するため設置された地方創生検討委員会。そこで構成員の平均年齢と、39歳以下の委員の人数は。また若者の地域参画に対する、町の考え、取り組みについて尋ねる。

A 委員の構成は、委員21名で平均年齢60歳、39歳以下は1名。20代以上を対象とした「まちづくりアンケート」や、たぶせVIEW会議、中学生映像ワークショップ事業を実施。地域社会の未来の担い手である若者に、更に世代を超えた「枠組みづくり」の、アプローチと方法を検討していく。



映像ワークショップ



たぶせVIEW会議

ふるさと田布施への思い

育む取り組みは

高月

誇り、生き抜く力を育む

鳥枝 教育長

Q 田布施町の将来を考えると、子供たちの年齢に応じた、地域、行政への学び、実際訪れて体験する中で、ふるさとへの思いを育まれると感じる。そこで、現在年相応な学び、様々な機会を通して、ふるさと田布施への思いを育めるよう、どのような教育に取り組まれているのか尋ねる。

A 小学校では、社会科や総合的な学習で、ふるさと田布施を学び、中学校では町内外で職場体験や、町内事業所や卒業OBの職業講話を実施。今年、新規採用教職員等を対象に「ふるさとを知る」一日研修を実施。地域への誇り、生き抜く力を育むため、子どもたちがふるさと学習に取り組む。



新規採用教職員の研修風景



田布施・平生合同斎苑(楠)



瀬石 公夫 議員

広域連携推進を

地方自治体の

瀬石 公夫

広域での住民サービスを議論する

東 町長

Q 令和2年国勢調査の速報値では、田布施町は819人減り、減少率は県平均より高い。急激に進行する人口減と少子高齢化、2040年頃にかけて生じる変化・課題(2040年問題)等には的確に対応するためには、地方自治体が地域の枠を越えて連携し、役割分担することが必要では。

A 人口構造の変化は、行政サービス提供の持続にも影響を及ぼすことも考えられる。

広域でのデジタル化や広域連携については、住民サービスの向上に大きく資するため、デジタル人材の任用など、広域で共同配置できないか検討している。広域での住民サービスの提供を議論する。

通学路の

安全確保は

瀬石

関係機関と合同点検を行っている

町長
鳥枝教育長

Q 千葉県八街市で下校中だった小学校の列に、トラックが突っ込み痛ましい事故が発生した。通学路の安全対策に万全を尽くす必要がある。①通学路の総点検はされたか。②登下校中の命を守るための指導は。③通学路の危険を防ぐ方法が困難な場合はスクールバスの検討をされては。

A 関係機関と連携して通学路の合同点検を実施している。また、「田布施町通学路交通安全プログラム」を策定して取り組んでいる。①既に報告



集団登校中(田布施西小)

のある47か所を含め合同点検を行う。②危険予測学習の取組により、交通安全意識を高めていく。③スクールバスは、今後の検討課題。

同行避難所の開設を

瀬石

先進事例を注視していく

町長

ペット

Q 台風シーズンに入り避難所開設が多くなると思われる。ペットブームやコロナ禍での巣ごもり生活でペットを飼われる家庭が多くなり可愛がっておられる。避難によりペットと一時的でも別れるのは辛いと思う。こうしたことで、

町内一か所にペット受け入れ避難所を開設されては。

A 本町でもペットと一緒に避難したいとの問い合わせがあった。ペットと一緒に避難できる避難所の確保は全国的にも課題となっている。光市は、



防犯パトロール犬
コラン君

今年7月から49か所ある避難所の一つをペット同行者の専用避難所として、試行的に開設された。先進事例や他市の動向を注視していく。

◎その他の質問
新型コロナウイルスワクチン供給不足について

防災・減災対策

8月豪雨の状況は

内山 昌晃

大きな被害なし

東 町長



内山 昌晃 議員



災害現場(石の口)

Q 8月に入り停滞する前線の影響で西日本では災害級の大雨となり本町でも災害対策基本法改正後初の高齢者等避難指示が発令されるなど災害に備える対応をされたと思う。そこで以下について質問する。①被害状況②災害対策本部設置状況、配置人員③避難所設置状況④課題・反省点。

A ①人的、住家の大きな被害報告なし。②8月13日から3日間災害対策本部を設置し、関係課併せ計12名で24時間対応。現地確認等を繰り返し行う。③町内5か所を開設。6世帯7名が避難。④長期化で多くの職員が24時間体制の配置による負担増。ルールづくりを検討する。

地域おこし協力隊

活動状況は 内山

退任後は町内で開業

町長

Q 9月末をもって地域おこし協力隊員の一人が任期満了により退任する。この3年間の実績と成果、反省点と課題、今後の去就を尋ねる。併せて2年目を迎えたもう一人の隊員の活動状況と今後も地域おこし協力隊員の募集を行うのか尋ねる。

A イチジクの栽培を勉強し集落営農法人、観光協会、地域交流館等で活動を行った。今後は町内に事務所を置きイチジク農家を軸として付加価値の高い加工品を販売していく。二人目の隊員はカフェの起業に向け地域交流館等で活動している。今後の隊員の募集は今年度中に募集を行う。



地域おこし協力隊員の2人

地域課題への対応

集落機能の維持・活性化

内山

行政と地域が協働

町長

Q 人口減少・高齢化により集落の機能が低下し、班の維持、行事の開催、草刈り等の環境作業が困難な状況となっている。今後、町はどのように集落機能を維持・活性化していくのか。また課題解決に地域の組織化・人の配置・機械化を提案するが如何か。

A 広く地域住民が特性と知恵を出し取り組む。行政と住民が主体となる分野を整理し協働していく。既に麻里府地区等で設置の地域が地域の課題について協議する場(協議体)を公民館単位で設置し、支え合いの仕組みづくりに取り組む。草刈りは機械化により省力化を図りたい。



草が生い茂った道

コロナ感染予防対策及びワクチン接種

状況は

落合 祥二

接種は順調

東 町長

感染マニュアルを踏まえ対策

鳥枝 教育長



落合 祥二 議員

率は町民全体では、77.6%、70.4%。65歳以上は91.4%、90.4%となっている。③各医療機関で対応できる。小学6年生は12歳に到達の都度、対象に追加される。

Q デルタ株が全国で猛威を振るっている。一方、ワクチン接種も感染予防や重症化のリスクを抑えるため一日も早く接種を受けられるようにすることが重要。①学校における感染予防対策は。②全ての町民と65歳以上の接種を終えた人の割合は。③接種できなかった人はどうなるのか。

A ①衛生管理マニュアルに定める地域の感染レベル3を踏まえて感染防止に取組む。②8月末で1回目及び2回目の接種

ワクチン接種率(全国、山口県、田布施町)

	公表日	全体		うち65歳以上の高齢者	
		1回目	2回目	1回目	2回目
全国	9/17	65.3%	53.1%	89.9%	88.4%
山口県	9/13	71.1%	61.8%	89.7%	89.2%
田布施町	9/7	78.6%	71.4%	91.7%	90.6%

※接種率の分母は令和3年1月1日現在の全国、県及び町の住民基本台帳人口

幅広い通学歩道の整備について

通学路安全プログラムは

落合

国、県へ既に整備要望 町長
毎年、実践している 教育長

Q 交通安全計画では通学路安全プログラム等が示されている。歩行者も自転車も通行可能な幅広い歩道が整備されている一方、歩道がない、歩道があっても自転車が行きにくい通学路がある。①通学路安全プログラムはどう実行。②自転車も通行可能な歩道をもっと整備できないか。

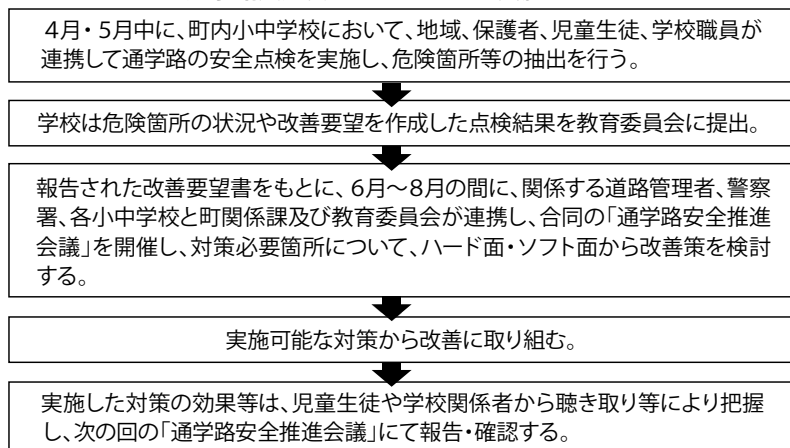
A ①平成27年に策定し、体制を整備した。毎年、通学路の安全点検を行い、PDCAサイクルとして実践し、通学路の安全性の向上を図っている。今年危険箇所は47か所あった。②国道や県道については既に国、県へ整備を要望している。町道も計画的に整備している。

幅広い歩道が整備中または今後整備される町内の道路

	路線名	区間	歩道幅
国道	188号	鳥越地区	3.5m
県道	23号(光上関線)	天神~砂田	4.0m(両側)
	163号(平生港田布施線)	役場~西小	3.5m
	164号(別府田布施停車場線)	役場~米出	3.5m
町道	駅南線	豆尾踏切付近	2.5m
	上ゲ西線	上ゲ地区	1.5m

※幅広い歩道が整備されれば歩行者、車いす(電動含む)や自転車(電動含む)も通行しやすくなる。ただし、歩行者や車いす(電動含む)が最優先。

《通学路交通安全プログラムの実施フロー》



3.5m幅の歩道を通学する児童・生徒



いきいき百歳体操



南 一成 議員

税金の負担率は

皆の努力で保険料抑制

負担率は減少している

東 町長

Q 税と社会保険料を所得で除した比率は町民負担率と呼ばれるが昨年との比較は。3年ごと見直す介護保険料は全国で2番目の引き下げ率となっている。保険料は町民利用者の取り組みにより唯一町内で決められるが、高齢化が進む中どの様な介護予防の取り組みをしているのか。

A 町民負担率は年収300万で27・4%、500万で24・9%、700万で24・4%程度で前年より減少している。75歳1人世帯のケースでも減少している。介護予防は「いきいき百歳体操」「みんなのカフェ」などは保険料の抑制になる。今後効果的な取り組みメニューを増やす。

8月の大雨災害

法面崩壊で通行止め

南

再三お願いしている 町長 鳥枝教育長

Q 8月の大雨で宅地造成斜面に設置してある太陽光発電パネル下から土砂が流出し、14日間通行止めになった。別の法面も亀裂があり、防災上行政指導出来ないか。通学路の安全点検は実施しているか。田布施川にヌートリアが繁殖し、護岸維持に支障の恐れがあるため、周知が必要では。

A 指摘の道路は、町道蔵本線で法面は企業が所有。以前より土砂が流出し法面崩壊の危

険性があるため再三流出防止をお願いしている。通学路の安全点検は毎年定期的に行っているが災害時は速やかに安全な通学ルートに変更している。ヌートリアは河川管理者に通報している。

固定資産税の誤解招く文書

還付返還の事前連絡

南

個別に充分説明する

町長

Q 相続登記未了に係る固定資産税の返還文書が発出された。この文書の内容が理解できず20年前の領収書を提出すれば返還するという一方的な文書に憤慨され相談に来られた。私は議会で説明を受けており、その内容を話せば納得された。再度対象者に説明をすれば誤解が解けるのでは。

A この度の件に関して、関係者、町民の皆様には深くお詫びします。税法上の還付は5年だが事態を重く見て20年間遡及することとした。しかし領収書保管義務を過ぎ電算上可能を限り調べても、平成11年度から14年度は確認できない。その為対象者に納付確認できる書類の依頼をしたもの。



災害現場(町道蔵本線)



ヌートリア(環境省HPより)

議会掲示板

第6回田布施町議会の雰囲気は違っていた。婦人会など傍聴者が多かったこと。午前中に引き続き午後も傍聴された。9時から5時まで、質問者も前回同様10人で長時間だった。感謝します。もう1つの理由は、議場内にいる人が観光協会の販売するポロシャツを着用していたこと。

議会も地球資源の節約、地域活性化を目指し、ポロシャツの着用を全員の賛成で決定した。着用は田布施町役場職員と同じクールビズ期間とし、議員全員が定例会の初日と最終日に緑色のポロシャツを着用する。

ご存知ですか、田布施町章の色を、濃い緑色です。議事堂でクールビズ対応を議論し、服の色を決めた。議長席の背後に

国旗と町章が掲示されている。会議を他の会議室で実施していれば、違う色を決める可能性は高かったと思う。中学校の体操服は、町内唯一の誇れる学校だから、緑色を採用したと気づいた。



9月定例会最終日(9月17日)

町議会だより 表紙の写真を募集します

テーマ

田布施町内で撮影された写真(新年号にふさわしい季節の風景・イベント等)

応募資格

田布施町内に在住・在勤・在学の方

応募方法

写真の説明(タイトル等)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参のうえ応募ください。採用された方には、千円分の図書カードをお送りします。

- メール
gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp
- 郵送
〒742-1592
山口県熊毛郡田布施町大字下田布施3440-1
田布施町議会事務局 宛

応募締め切り

令和4年1月6日(木)

※第152号(令和4年1月21日発行)に掲載予定

《掲載について》

- ①採用された写真は、応募者の氏名・自治会・タイトルとともに町議会だよりの表紙に掲載します。
- ②写真を掲載した議会だよりは、町内全戸等に配布するほか、HPでも公開します。

《応募上の注意》

- ①応募は1人2点までとします。
- ②写真は応募者自身が撮影したもので、未発表・未公開・他のコンテストに未応募のものに限ります。
- ③合成写真など、画像加工したものは除きます。
- ④個人が特定できる人物や個人の所有物が写っている場合は、応募者の責任で人物(被写体)または所有者の承諾を得てください。
- ⑤編集上、トリミング加工等を行う場合があります。
- ⑥応募作品は返却できません。
- ⑦応募に係る費用は応募者の負担になります。
- ⑧応募写真の著作権は、町議会に帰属させていただきます。



議員タブレット研修会

8月18日(水)、ICT(情報通信技術)関連企業の協力により、タブレット端末の操作研修を実施した。いよいよ小中学校も、生徒一人一台タブレットにより、最適化されたICT教育がスタート。議会もその有用性について、検討を始める。

東京とのリモートでの研修で、タブレットを触りながら、実際のクラウドにおけるデータの閲覧。様々な機能を教えてもらいながら操作。議会の度に、膨大な資料を持ち込んでいるが、ペーパーレス化によるコスト削減と、環境への配慮、情報伝達の迅速化や効率化、そして議員活動での活用など、今後検討を進める。



議員タブレット研修(8月18日)

広聴モニター懇話会

7月26日(月)、議会広聴広聴モニター懇話会が開催されました。

モニターは、町内5地域から、それぞれ2名の方にお呼びしています。

いただいたご意見を、今後の広報づくりに生かしてまいります。

モニターのみなさま

- 山本小夜子 (吉井)
 - 添郷 明子 (川西)
 - 村田 泰己 (塩坪)
 - 岡田 澄江 (配原)
 - 松根 宏次 (御蔵戸)
 - 河村千鶴子 (竹尾)
 - 驛重 寛和 (新川)
 - 有清 宏見 (奈良)
 - 殿明 文久 (上組)
 - 濱田 秀樹 (中郷)
- (敬称略)



広聴モニター懇話会(7月26日)

主な意見

- ・町の広報も議会だよりも、表紙はカラーがいい。
- ・本会議と委員会レポートのページで、内容が重複しているものがあり分かりにくい。

議会を傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

【問合せ先】議会事務局

☎(52・5800)

12月定例会の日程(予定)

7日	本会議(初日) (一般質問)
9日	経済厚生委員会
13日	総務文教委員会
15日	本会議(最終日)

※いずれも午前9時から
※正式には12月1日の議会運営委員会で決定されますので、ご確認下さい。

議会だより150号を読んで

◇議会に関心を持って

岡田 澄江

「たぶせ議会だより」節目の150号がモニターの出発となりました。

私が一番関心を持ったのは、コロナ対策についてです。複数の議員から質問があり、今日皆が知りたいテーマだと感じました。

ワクチンについて、高齢者接種率の推移のグラフや、接種スケジュールの表で、わかりやすいと思いました。町内のワクチンが、スムーズに進んでいる事は安心です。

また、経済対策も、地域応援商品券の実施や、町独自の対策も追加される様で、注視したいと思います。

議員の質問が、同じ主旨の場合、一人が代表して質問して質疑し、沢山ある課題をそれぞれ質問してほしいと思います。

これを機に、議会に関心を持ち、是非傍聴に行きたいと思えます。

◇吹き始めた新しい風

松根 宏次

議会広報委員会のメンバーも変わり、新しい風が吹き始めたようだ。

まず気が付いたのは、表紙のQRコードの下に「ホームページの『議会だより』は、表紙がカラーとなります。」とあったことだ。早速スマホで議会のホームページの149号にアクセスしてみた。ハッとした。

色鮮やかな桜が青空をバックに、画面いっぱい広がった。小さな感動を覚えた。

次に、表紙の見出しの字体に気が付いた。内容に合わせて文字スタイルが工夫され、画一的でないのが目を惹いた。遊び心を感じた。

更に、一般質問のページでは、これまで6〜7人だったが、今回は10人の議員が町政を問い、一人一ページを使って議会の様子を伝えていた。

新しい風が吹き始めたことを感じる記念すべき150号。「継続は力なり。」風が吹き続けることを期待したい。

◇まとめて読み易く

殿明 文久

昨年から一字一句全て読んでいます。補正予算の特別会計は全て10万円以下の減額です。こんな少額を補正する必要があるのか?と想っていたら、経済厚生委員会と同じ質問がされていました。理由はあるようですが、決算時の報告で良いのではないのでしょうか?コロナ感染が長引いている為、一般質問では、10人中6人の議員がワクチン接種の進捗状況や感染症対策、事業者への支援等について質問されています。町長の回答は概ね同じです。議会だよりには、6人の議員からの質問に対する町長の回答としてまとめて掲載してはどうでしょうか?

各議員に対する回答は必要ですが、議会だよりを読む読者としては、町の方針や考え方がまとめて書いてある方が分かり易くて良いのではないかと思います。出来るだけ同じ内容は、まとめて読み易い議会だよりにして欲しいです。

◆お礼◆
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙中にもかかわらず、毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

◇田布施の明るい未来

添郷 明子

田布施は、山と川、海のある町。自然と触れ合っけて子育てができる、とても良い環境だと思えます。表紙の魚釣りをする子供たちと、それを見守るボランティアの姿に、田布施の明るい未来を思わせていただきます。

今夏、豪雨で全国に災害がありました。災害対策について、分野によつては予算配分が少なく遅れているとの記述がありました。一刻も早く災害に強い町になるよう事業を推進してもらいたいです。

コロナウイルスが感染拡大しているさ中、町内でのワクチン接種が順調に進んでいることは、大変ありがたいことです。

今まで議会だよりは、じっくり読んだことがあります。行政に関心をもち勉強していることと思えました。



議員リレー随筆

公園づくり



國本 悦郎

私の住む里の近くに1反余りある麻里府公園がある。その管理を引き受けたのが7年前。以来、雑草だらけだった公園を四季折々に咲く花のある公園にしようと、種から

育てた苗や挿し木、それに休眠枝挿しを駆使しながら公園づくりに励んでいる。今では、公園の周りにはキンシバイとレンギョウ、紫陽花、それにハギを配置している。花木も年々増え、いつ公園に来てても何某かの花が咲くようになつてきた。更にアサギマダラを呼ぼうとフジバカマも植えている。こんな公園づくりを一緒にしてみませんか。

白い服



河内 賀寿

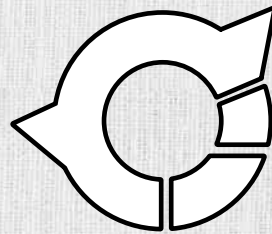
夏の白い服を見ていると、母の戦争末期の体験話を思い出す。当時国からの指示と信じ、白い服を泥水で染めカーキ色にし、上空の敵機に見えにくくしたとのこと。

母は日本全国そうなつていたと信じていました。しかし朝ドラではそうでもなく、母は私に大阪の親戚に確認の電話をさせました。するとなんと大阪ではそんなことをせず、大阪大空襲の日に白い服は目標にされ、機銃装射で多数亡くなられたとのこと。母の不思議な顔を今でも忘れられない。国の指示には絶対と、そうでもないものがあつたのだらうか。疑問です。

発見！クイズたぶせ？

Q

田布施町章の色は何色でしょうか？



ヒント

答えは、議会だよりの文章の中に書かれていますよ。探してみてください！

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえ応募ください。

●宛先 〒742-1592
山口県熊毛郡田布施町大字下田布施
3440-1
田布施町議会事務局 宛

●応募締め切り 令和3年11月30日

●Eメールからもご応募できます
gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp
正解の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお送りします。

なお、正解者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

※前号の正解は電報電話局(電電公社・電報等でも可)でした。

編集後記

昭和42年生まれわたしは今年で54歳になる。田布施町役場には6人の同級生が在職しており、田布施中学校で共に学び共に遊んだ友達である。

現在、その連中は課長クラスとなり、町政執行の中心を担っている。議場では町執行部側と議会側に座り、あいまみえることとなった。町のことを想い町の未来のため、侃々諤々と議論をし、互いが切磋琢磨し職務を全うしたいと思っている。

その様子の一端でも「議会だより」でお伝えできれば幸甚だ。

(内山)

- | | |
|---------|-------|
| 議会広報委員会 | |
| 委員長 | 河内 賀寿 |
| 副委員長 | 高月 義夫 |
| 委員 | 谷村 善彦 |
| | 内山 昌晃 |
| | 落合 祥二 |
| | 神田 栄治 |

